

平成30年度野田市健全化判断比率報告書

(単位：%)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
—	—	5.9	26.9
(11.80)	(16.80)	(25.0)	(350.0)

- 1 実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、黒字のため表示は「—」となります。
- 2 括弧内は、早期健全化基準です。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定により報告する。

令和元年8月30日提出

野田市長 鈴木 有

野 監 第110号

令和元年8月21日

野田市長 鈴木 有 様

野田市監査委員 栗 林 徹

同 新 井 栄 子

同 深 津 憲 一

平成30年度野田市健全化判断比率審査意見について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定により審査に付されたこのことについて、別紙のとおり意見書を提出します。

平成30年度野田市健全化判断比率審査意見書

1 審査の対象

平成30年度野田市健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率）及びその算定の基礎となる事項を記載した書類

2 審査の期間

令和元年8月2日から令和元年8月14日まで

3 審査の方法

この健全化判断比率審査は、市長から提出された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が、適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。なお、審査は、野田市監査委員監査等執行規程（平成29年3月8日野田市監査委員規程第1号）に準拠して行った。

4 審査の結果

審査に付された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められた。

（単位：％）

比率名	平成29年度	平成30年度	早期健全化基準
① 実質赤字比率	—	—	11.80
② 連結実質赤字比率	—	—	16.80
③ 実質公債費比率	7.5	5.9	25.0
④ 将来負担比率	46.4	26.9	350.0

※ 実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、黒字であり該当しない。